

RECORDING APPARATUS

Publication number: JP2000289291 (A)

Publication date: 2000-10-17

Inventor(s): OSHIMA KEIICHI; AKATSUKA YASUSHI; KUMAI EIJI; KANEMITSU MASATOMO

Applicant(s): SEIKO EPSON CORP

Classification:

- international: B41J11/02; B41J29/00; B65H5/00; B41J11/02; B41J29/00; B65H5/00; (IPC1-7): B41J29/00; B41J11/02; B65H5/00

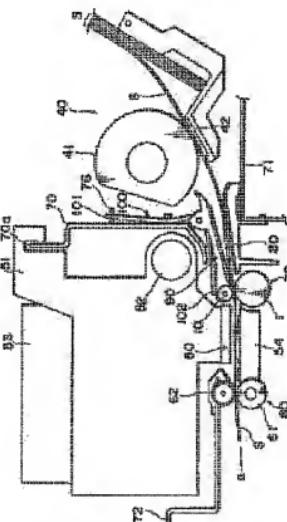
- European:

Application number: JP19990098377 19990406

Priority number(s): JP19990098377 19990406

Abstract of JP 2000289291 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent dust and paper dust from adhering to a recording medium and prevent a printing quality from deteriorating by immediately removing charges of a recording medium transfer path caused by rubbing with a recording paper. SOLUTION: While a recording medium S set to the upstream side of a recording medium transfer path is moved forward on the recording medium transfer path by a medium transfer means, a recording part with a recording head 50 carries out desired recording in the recording apparatus. Among parts constituting the recording medium transfer path a platen or the like, for example, is formed of a plastic material processed by a conductive property application process. The plastic part is held in a state that it is almost electrically earthed, and therefore is hardly charged even when it is rubbed with the recording medium.



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-289291

(P2000-289291A)

(43) 公開日 平成12年10月17日 (2000.10.17)

(51) Int.Cl.
 B 41 J 29/00
 11/02
 B 65 H 5/00

類別記号

F 1
 B 41 J 29/00
 11/02
 B 65 H 5/00

テ-レ-ト* (参考)
 S 2 C 0 5 8
 2 C 0 6 1
 A 3 F 1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数4 O.L. (全6頁)

(21) 出願番号 特願平11-98377

(71) 出願人 000002389

セイコーエプソン株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

(22) 出願日 平成11年4月6日 (1999.4.6)

(72) 発明者 大島 敏一

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコ

-エプソン株式会社内

(72) 発明者 赤堀 靖

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコ

-エプソン株式会社内

(74) 代理人 100095452

弁理士 石井 博樹

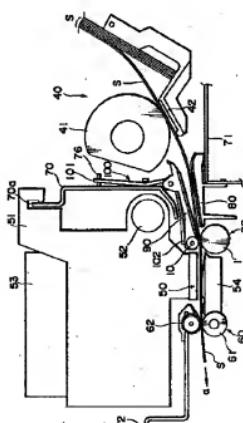
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 記録装置

(57) 【要約】

【課題】 記録媒体搬送路を記録用紙との擦れによる帶電を直ぐに除電でき、これにより、記録媒体に塵や紙粉が付着しないようにし、もって印字品質の低下を防止できる記録装置を提供すること。

【解決手段】 記録媒体搬送路の上流側に置かれた記録媒体Sを媒体搬送手段により前記記録媒体搬送路上を先方に向かって移送しつつ記録ヘッド50を備えた記録部にて所望の記録を行う構成の記録装置であって、前記記録媒体搬送路を構成する構成部品のうち例えばブラン等のプラスチック材部品は、導電性付与処理されたもので形成されている。これにより該プラスチック部品が電気的にアースされているとの同様の状態にあるため、記録媒体と擦れても殆ど帶電しない。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 記録媒体搬送路上の上流側に置かれた記録媒体を媒体搬送手段により前記記録媒体搬送路上を先方に向かって移送しつつ記録ヘッドを備えた記録部にて所望の記録を行う構成の記録装置であって、前記記録媒体搬送路を構成する構成部品のうちプラスチック材部品は、その少なくとも一つ以上が導電性付与処理されたもので形成されていることを特徴とする記録装置。

【請求項2】 請求項1において、導電性付与処理されたプラスチック部品は、記録ヘッドと対向位置にあるプラテンであることを特徴とする記録装置。

【請求項3】 請求項1または2において、導電性付与処理されたプラスチック部品は、導電性物質を混入して形成された導電性樹脂で形成されたもの、或いは導電性皮膜が表面に被設されたものであることを特徴とする記録装置。

【請求項4】 請求項3において、導電性付与処理は、プラスチック部品の前記記録媒体と擦れる表面部分だけになされていることを特徴とする記録装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、記録媒体搬送路上の上流側に置かれた記録媒体を媒体搬送手段により前記記録媒体搬送路上を先方に向かって移送しつつ記録ヘッドを備えた記録部にて所望の記録を行う構成の記録装置に関するものである。ここで、「記録媒体」とは、普通紙、コート紙、OHP（オーバーヘッドプロジェクタ）用シート、光沢紙、光沢フィルム等の各種シートを含む概念である。

【0002】

【従来の技術】 この種の記録装置は、例えばプリンタの場合、印刷用紙は用紙搬送路上を上流側から下流側に向かって、給紙ローラ、紙送りローラ、更に排紙ローラで搬送されつつ、印字ヘッドによって印刷が行なわれる。印刷用紙は、用紙搬送路上の殆どの範囲をプラスチック部品から成る下ガイド、上ガイド更にはプラテン等の表面と擦れた状態で搬送される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 印刷用紙がプラスチック部品と擦れると帶電するため、その静電気により座や紙粉等を吸着し易くなる。座や紙粉が吸着した状態で印刷用紙に印刷が行なわれると印字品質を低下する。

【0004】 本発明の課題は、記録媒体搬送路を記録用紙との擦れによる帶電を直ぐに除電でき、これにより、記録媒体に座や紙粉が付着しないようにし、もって印字品質の低下を防止できる記録装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記課題を達成するた

め、本願請求項1に記載の発明は、記録媒体搬送路の上流側に置かれた記録媒体を媒体搬送手段により前記記録媒体搬送路を先方に向かって移送しつつ記録ヘッドを備えた記録部にて所望の記録を行う構成の記録装置であって、前記記録媒体搬送路を構成する構成部品のうちプラスチック材部品は、その少なくとも一つ以上が導電性付与処理されたもので形成されていることを特徴とする記録装置。

【0006】 本発明によれば、導電性付与処理されたプラスチック部品にて前記記録媒体搬送路を構成したので、該プラスチック部品が電気的にアースされているとの同様の状態にあるため、記録媒体と擦れても殆ど帶電せず、もって座や紙粉の付着を防げ、印字品質を低下させない。

【0007】 また、本願請求項2に記載の発明は、請求項1に記載された記録装置において、導電性付与処理されたプラスチック部品は、記録ヘッドと対向位置にあるプラテンであることを特徴とするものである。本発明によれば、記録ヘッドと対向するプラテンを導電性付与処理したプラスチック材で形成したので、当に記録の最中にある記録媒体を静電気の影響を受けない状況におくことができる。

【0008】 また、本願請求項3に記載の発明は、請求項1または2に記載された記録装置において、導電性付与処理されたプラスチック部品は、導電性物質を混入して形成された導電性樹脂で形成されたもの、或いは導電性皮膜が表面に被設されたものであることを特徴とするものである。本発明によれば、導電性樹脂を用いたりあるいは導電性皮膜が表面に被設されたプラスチック部品を用いたので、長期間にわたって導電性付与能力を保持させることができ、もって長期間にわたって印字品質の低下を防止することができる。

【0009】 また、本願請求項4に記載の発明は、請求項3に記載された記録装置において、導電性付与処理は、プラスチック部品の前記記録媒体と擦れる表面部分だけになされていることを特徴とするものである。本発明によれば、最も帶電し易い部分を集中して導電性付与処理がされているため、効果的に座や紙粉等の付着を防止することができる。

【0010】

【発明の実施の形態】 以下、本願発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。図1は本発明に係る記録装置であるインクジェットプリンタの一例を示す概略側面図である。このインクジェットプリンタは、堅実ローラである高摩擦ローラ1及び從動ローラ10からなる紙送りローラ30と、この紙送りローラ30に記録媒体であるシートSを供給するシート供給装置40と、紙送りローラ30により搬送されるシートSの表面にインクを吐して画像（文字を含む）を形成する印字ヘッド50と、印字済のシートSを排出する排紙ローラ60を備えている。

る。また、当該プリンタは、前記紙送りローラ30、シート供給装置40、印字ヘッド50を保持するキャリッジ51、排紙ローラ60等を取り付けるためのメインフレーム70と、第1のサブフレーム71と、第2のサブフレーム72と、図示しない一対のサイドフレーム等を備えている。

【0011】紙送りローラ30は、その駆動ローラ(高摩擦ローラ)1が図示しないサイドフレームに支持されており、適宜の駆動手段で駆動されるようになっている。従動ローラ10は、後述する支持機構により、駆動ローラ1に対して少し押圧状態で従動回転可能に支持されている。

【0012】シート供給装置40は、給紙ローラ41と、該給紙ローラ41に向けてシートSを付与する表示しないホッパと、給紙ローラ41との間にシートSを挟むしてシートSを分離する分離バッド42とを備えている。ホッパには複数枚のシートSがセットされており、シート供給時には、1回転する給紙ローラ41に向けてシートSがホッパにより押圧され、分離バッド42で分離されて、1枚のシートSのみが紙送りローラ30に向けて供給されるようになっている。供給されるシートSは、第1サブフレーム71に取り付けられた下方ガイド80と、メインフレーム70に取り付けられた上方ガイド90により、紙送りローラ30に向けて案内される。

【0013】印字ヘッド50は、キャリッジ51に取り付けられている。キャリッジ51はメインフレーム70の上端70aと、キャリッジ駆動軸52とによって、シートSの幅方向に図示しない駆動手段を介して往復移動可能に取り付けられている。キャリッジ51にはインクタンク53が搭載されている。その印字動作は、キャリッジ51がシートSの幅方向に往復移動しつつ印字ヘッド50からインクが吐出されることにより1行分の印字がなされ、その1行分の印字がなされる毎に、紙送りローラ30でシートSが所定ピッチ(通常行間分)搬送され、これらの動作が繰り返されることによって行われる。符号54はシートSの下面を支持して案内するとともにシートSと印字ヘッド50との間隔を規定する基底部材となるプランタである。

【0014】排紙ローラ60は、駆動ローラ61と、これに向けて付勢されている従動ローラ(スターホイール)62とからなっており、印字済のシートSをプリンタ本体外に排出するものである。従動ローラ62は、第2サブフレーム72に取り付けられている。

【0015】次に、シート搬送装置30の従動ローラ10の支持構造について図1乃至図3に基づいて説明する。これらの図に示したように、従動ローラ10は上方ガイド90の先端部に回転可能に支持されている。この上方ガイド90は、全体として略平板状をなしており、図2に拡大して示した如く、その基部91が支持軸20に回転可能に取り付けられている。支持軸20はメインフレーム70の下端において折り曲げ形成されたフック部73、74によって上下から挟まれるようにして支持されている。また、支持軸20は、シート搬送方向において、駆動ローラ1の軸心に対して下手側に従動ローラ10の軸心が配置されるので、後述のようにねじりバネ100の付勢が傾く結果、シート搬送方向下手側に所要の付勢力を受けて、図2においてその左方がメインフレーム70の背面(図2で右側の面)65に当接している。これによって、支持軸20は、紙送りローラ30の駆動ローラ1の軸線と平行に配置されるようになっている。

【0016】従動ローラ10は、図3に示した如く、1本の軸11と、この軸11の軸線方向中央部11aに対して対称に、且つこの中央部21aを避けた該軸11に装着された従動ローラ単体対10'、10'を有している。一方、上ガイド90の先端部には、前記軸11の両端11b、11bを支持する、上下方向(駆動ローラ1に向かう方向)に伸びる長穴92、92と、前記軸11の中央部11aと当接する押圧部93とが形成されている。長穴92、92は、基部91すなわち支持軸20に対して等距離に設けられている。

【0017】前記支持軸20には、ねじりバネ100が装着されている。このねじりバネ100の一端101は図1に示したように、メインフレーム70のフック部76に掛け止めされ、他端102は上方ガイド90の押圧部93に当接してこれを駆動ローラ1に向けて付勢している。

【0018】従って、従動ローラ10は、軸11の両端11b、11bが駆動ローラ1方向に向かってのみ移動可能に支持されているとともに、軸11の中央部11aのみが駆動ローラ1方向に向けて付勢されているから、該軸11は支持軸20とは独立してその中央部11a(正面視)でまわりに揺動可能であり、駆動ローラ1に沿うようにして駆動ローラ1に圧接されることになる。尚、図示しないが、このプリンタにおいては、上記構造の従動ローラ10が駆動ローラ1に対してその軸方向に複数設けられている。

【0019】また、軸11の両端11b、11bを支持している長穴92、92が支持軸20に対して等距離に設けられているので、軸11と支持軸20は平行であり、且つ支持軸20は、ねじりバネ100によってメインフレーム70の背面75に押し付けられた状態となるから、支持軸20と駆動ローラ1との平行度は高精度で保たれ、結果として、従動ローラ10の軸11と駆動ローラ1の軸線との平行度が高精度に保たれることになる。とりわけ、従動ローラ10の軸11が支持軸20と独立して中央部11a(正面視)でまわりに揺動可能であることによって、正面視での平行度は極めて高精度に保たれることになる。

【0020】そして、従動ローラ10は、上記したよう

に軸11の両端11b、11bが駆動ローラ1方向に向かってのみ移動可能に支持されているとともに、軸11の中央部11aのみが駆動ローラ1方向に向けて付勢されているので、駆動ローラ1に対して均等に圧接されることとなり、シートSが真っ直ぐ搬送されることとなる。

【0021】本実施の形態では、上記の如く記録媒体搬送路は、シート供給装置40、紙送りローラ30、排紙ローラ60で作られるラインで構成され、その上流側のシート供給装置40のホッパ(図示せず)に置かれたシートSを媒体搬送手段である前記シート供給装置40、紙送りローラ30および排紙ローラ60により当該記録媒体搬送路上を先方に向かって移送しつづ印字ヘッド50にて所望の記録を行えるようになっている。そして、この記録媒体搬送路を具体的に構成する部品である分離パッド42、下ガイド80、上ガイド90、プラテン54等はプラスチック材で作られている。本実施の形態では、これらのプラスチック部品は総て導電性付与処理されたもので形成されている。

【0022】導電性付与処理されたプラスチック部品(分離パッド42やプラテン54等)は、導電性金属粒子などの導電性物質を混入して成る導電性樹脂で形成する、或いはニッケル等の金属メッキや導電性不織布等の導電性皮膜をプラスチックの表面に被設することにより製造されている。このように、導電性樹脂を用いたり或いは導電性皮膜が表面に被設されたプラスチック部品を用いたので、長期間にわたって導電性を保持させることができ。このように、導電性付与処理がされたプラスチック部品(分離パッド42やプラテン54等)にて前記媒体搬送路が構成されているので、シートSが搬送過程でプラテン54等と擦れるが、該プラスチック部品が電気的にアースされているとの同様の状態にあるため、帯電せず、もって塵や紙粉の付着を防げ、印字品質を低下させない。

【0023】尚、導電性付与処理のための導電性皮膜に用いられる導電性塗料としては、銀の微粉を顔料とし、これをメタクリル酸樹脂から成る粘結剤と、ケトン類や塩化エチレン等の溶剤とを一様に混合したものが一例として挙げられる。

【0024】上記実施の形態では、媒体搬送経路にある殆どのプラスチック部品を導電性付与処理した場合を説

明したが、そうではなく、記録ヘッド50と対向位置にあるプラテン54だけを導電性付与処理したものも可能である。記録ヘッド50と対向すると共に、当に印字中の状態にあるシートSの下面を支持しつつ対的に擦れるプラテン54を導電性付与処理することで、印刷最中にあるシートSを静電気の影響を受けない状況に容易にくくことができる。

【0025】また、前記導電性付与処理は、プラスチック部品の前記シートSと擦れる表面部分だけになされていてもよい。これにより、導電性付与剤の使用量を低減できると共に、最も帯電し易い部分に集中して導電性付与処理がされているため、効果的に塵や紙粉等の付着を防止することができる。

【0026】

【発明の効果】本発明によれば、導電性付与処理がされたプラスチック部品にて前記媒体搬送路を構成したので、該プラスチック部品は電気的にアースされているのと同様の状態になり、それと記録媒体とが擦れても殆ど帯電せず、もって塵や紙粉の付着を防げ、印字品質を低下させない。特に、記録ヘッドと対向するプラテンを導電性付与処理したプラスチック材で形成すれば、当に記録の最中にある記録媒体を静電気の影響を受けない状況にくくことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るインクジェットプリンタを示す概略側面図である。

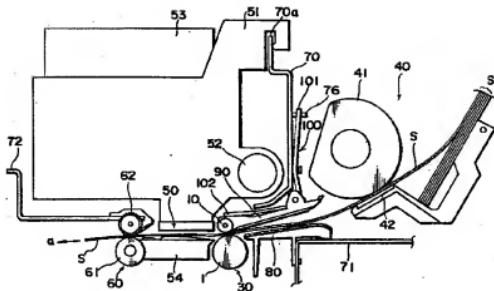
【図2】図1の部分拡大図である。

【図3】從動ローラの支持構造の一例を示す斜視図である。

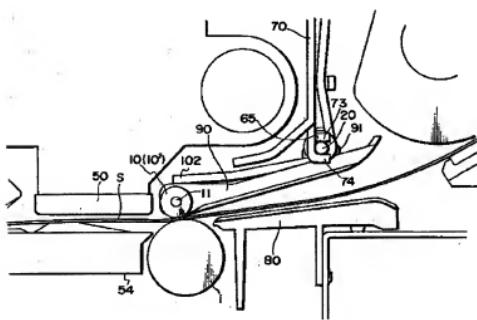
【符号の説明】

1	駆動ローラ
10	従動ローラ
30	紙送りローラ
40	シート供給装置
41	給紙ローラ
42	分離パッド
54	プラテン
60	排紙ローラ
80	下ガイド
90	上ガイド

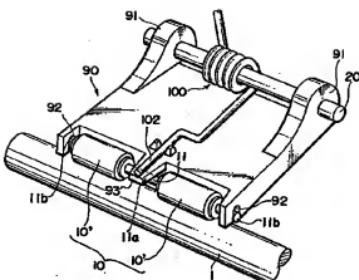
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(72)発明者 熊井 英司
長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコ
—エプソン株式会社内
(72)発明者 金光 正智
長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコ
—エプソン株式会社内

Fターム(参考) 2C058 AB17 AC07 AE02 AE09 AF04
AF17 AF20 AF23 AF31 DA06
DA11 DR25 DB27 DB39
2C061 A005 AS02 AS13 CP03
3F101 AA08 LA01 LB03